

業務状況説明書

(令和元年10月1日から令和2年3月31日まで)

富士見市下水道事業

1 令和元年度下半期の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

令和元年度末における水洗便所化人口は、109,103人で、前年度末に比べ402人の増加となっています。

1日平均処理水量は3,058 m³の増加、有収水量は9,163 m³の減少となっています。

年度 区分	令和元年度 (年度末)	平成30年度 (年度末)	比較	
			増減	増減率(%)
水洗便所化人口(人)	109,103	108,701	402	0.37
1日平均処理水量(m ³)	35,150	32,092	3,058	9.53
有収水量(m ³)	10,384,102	10,393,265	△9,163	△0.09

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、新河岸第12-2-1処理分区(上沢1丁目地内)、柳瀬第9処理分区(大字水子地内)の管渠築造工事を実施しました。

なお、水谷東ポンプ場ゲート電動機交換工事、砂川堀第2雨水幹線改修工事、新河岸第16-1-1汚水管渠築造工事(第1工区~第6工区)につきましては、沿線事業者の出入口確保のための調整、地下埋設物の布設替えや、借地の協議に不測の日数を要したことなどから、令和2年度に繰越をいたしました。

(2) 経理の状況（税込）

下半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	事業収益	1,820,468	780,995	1,030,641	1,811,636	99.51
	営業収益	1,289,711	778,371	512,925	1,291,296	100.12
	営業外収益	530,756	2,274	517,717	519,991	97.97
	特別利益	1	350	0	350	34,995.20
支出	事業費	1,536,655	225,115	1,299,849	1,524,964	99.24
	営業費用	1,381,724	148,384	1,217,493	1,365,877	98.85
	営業外費用	153,891	76,656	82,269	158,925	103.27
	特別損失	540	75	87	162	30.07
	予備費	500	0	0	0	—

イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	資本的収入	1,188,287	62,545	680,143	742,688	62.50
	企業債	932,500	0	511,800	511,800	54.88
	国庫(県)補助金	152,360	0	160,400	160,400	105.28
	負担金	103,427	62,545	7,943	70,488	68.15
支出	資本的支出	2,033,068	706,334	556,662	1,262,996	62.12
	建設改良費	1,313,138	350,000	194,067	544,067	41.43
	企業債償還金	718,930	356,333	362,596	718,929	100.00
	予備費	1,000	0	0	0	—

2 令和2年度予算の概要

(1) 予算編成概要

下水道事業を取り巻く環境は、人口増加の鈍化や生活様式の多様化、節水意識の定着やトイレなどの節水型機器の普及等により、長期的には主たる下水道事業収益の使用料収入の減少が懸念されます。一方で、布設から長い年月が経過した管渠やポンプ施設等の老朽化が進んでおり、これらの施設の更新や耐震化に多大な費用が必要となるため、今後の経営状況はますます厳しいものとなることを見込まれます。

令和2年度の公共下水道汚水事業については、私道対策に伴う管渠築造工事と大字水子ほかの舗装本復旧工事等を実施するとともに南畑地区について引続き計画的に整備促進を図っています。次に、公共下水道雨水事業については、鶴瀬駅西口土地区画整理事業地内の管渠築造工事と江川左岸第七ノ一号雨水幹線内の不法投棄等を防止するための開渠部蓋掛け工事を実施するほか、業務委託として別所雨水ポンプ場の施設更新設計や浸水対策の調査業務などを実施します。

今後も市民生活の安心・安全のため、都市環境の改善を図り、都市の健全な発展と公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資するため、計画的に整備を進めるとともに維持管理に努め、経費の削減はもとより、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成しました。

(2) 業務の予定量

区 分 \ 年 度	令和2年度	令和元年度	増減
年間処理水量 (m ³)	12,194,602	12,517,609	△323,007
水洗化世帯戸数 (戸)	56,224	54,741	1,483
管渠布設距離 (m)	3,700	3,265	435

(3) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比3.8%増の18億8,972万円、支出は、前年度比2.0%増の15億6,706万6千円で、収支差引で3億2,265万4千円の黒字となっています。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比5.5%減の8億8,623万6千円、支出は、前年度比4.7%減の16億9,635万円となり、収支差引では8億1,011万4千円の赤字が見込まれますが、この赤字分については、損益勘定留保資金等で補てんするものとしております。

(4) 収入支出明細書

収 益 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
下水道事業収益		1,889,720	
営業収益		1,322,346	
	下水道使用料	1,004,252	下水道使用料の予定額を計上
	他会計負担金	317,934	汚水及び雨水処理負担金等の予定額を計上
	その他の 営業収益	160	下水道指定工事店指定手数料等の予定額を計上
営業外収益		567,373	
	受取利息	212	定期・預金利息の予定額を計上
	他会計補助金	190,000	一般会計からの補助金の予定額を計上
	長期前受金戻入	337,130	長期前受金の戻入予定額を計上
	雑収益	1,775	勝瀬原調整池及び桜井雨水幹線占用料等の予定額を計上
	消費税及び地方 消費税還付金	38,256	消費税及び地方消費税還付予定額を計上
特別利益		1	
	過年度 損益修正益	1	過年度損益修正益を計上

支 出

(単位：千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
下水道事業費用		1,567,066	
営業費用		1,434,399	
	管渠費	538,152	管渠の維持管理に要する経費を計上
	業務費	47,930	使用料の徴収業務等に要する経費を計上
	総係費	36,331	下水道事業の総括的経費を計上
	水洗化促進費	270	水洗化促進に要する経費を計上
	減価償却費	808,864	固定資産の減価償却費を計上
	資産減耗費	2,852	固定資産除却費を計上
営業外費用		131,617	
	支払利息	131,317	企業債及び一時借入金の利子を計上
	雑支出	300	過誤納に伴う還付金等(過年度分)を計上
特別損失		550	
	過年度 損益修正損	550	過年度損益修正損を計上
予備費		500	
	予備費	500	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
企 業 債		740,100	
	企 業 債	740,100	下水道施設の建設に対する企業債の予定額を計上
国庫(県)補助金		79,370	
	国庫(県)補助金	79,370	下水道施設の建設に対する国庫補助金の予定額を計上
負 担 金		66,766	
	負 担 金	66,766	受益者負担金及び一般会計負担金等の予定額を計上

支 出

(単位：千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
建 設 改 良 費		985,248	
	建 設 総 係 費	83,202	下水道建設事業に要する事務費を計上
	公 共 下 水 道 建 設 事 業 費	198,962	公共下水道の建設に要する経費を計上
	特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 建 設 事 業 費	560,364	特定環境保全公共下水道の建設に要する経費を計上
	流 域 下 水 道 建 設 事 業 費	142,720	流域下水道事業建設負担金を計上
償 還 金		710,102	
	企 業 債 償 還 金	710,102	企業債元金の償還金を計上
予 備 費		1,000	
	予 備 費	1,000	